

令和元年度 全国学力・学習状況調査

1 教科に関する調査

○小学校国語

夕張市は平均正答率で、北海道との差は6 p、全国との差6.8 P
領域別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」が北海道の平均正答率に近い。

無解答はないが、記述式問題の正答率が低い。下位児童への対策が課題。

○小学校算数

夕張市は、北海道との差が10 p、全国との差は12.6 P
領域別では、「図形」が北海道の平均正答率に接近している。算数も国語と同様に記述式の問題に正答率が低い。

○中学校国語

夕張市は北海道との差が10 P、全国との差は10.8 P
領域別では、「聞くこと・話すこと」の領域が北海道に接近している。
自分の考えを記述する記述式問題の正答率が低い。

○中学校数学

夕張市は北海道との差が16 P、全国との差は17.8 P
領域別では「関数」の領域において北海道との差が最も大きい。
中学校の数学については少人数指導を行っているが、本調査ではその成果が表出していない状況である。

○中学校英語

夕張市は北海道との差が12 P、全国との差が14 P
領域別では「聞くこと」において、北海道との差が最も接近している。
「読むこと」「書くこと」の領域において北海道との差がある状況から
「聞くこと」においてオンライン英会話の成果が出ていると判断する。

2 北海道の結果公表

- ・8月28日に北海道の結果が公表される予定であるが、北海道は全教科で全国平均を下回る結果である。
- ・英語の「聞く」領域は全国と並んでいるが、他の領域は差が生じている。
英語に関しては北海道教育委員会が3年間独自の施策として全道の中学校で「英検I B A」を実施する。夕張中学校もこれに参加する。
「英検I B A」は、「読むこと」「聞くこと」の2技能を測定する試験である。
参加費用は道教委負担。(英検準1級から5級レベル)